

## 令和3年第1回幸手市議会定例会 市政に対する一般質問通告書（通告順）

発言 順位	議席 番号	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨
1	1	四本奈緒美	1 ヤングケアラー支援について	<p>病気や障がい、精神的な問題を抱える家族を介護している人をケアラーという。その内、18歳未満の子どもをヤングケアラーという。埼玉県ではヤングケアラーも含めたケアラーを支援する全国初の「埼玉県ケアラー支援条例」が昨年3月に制定された。県では県内高校2年生全員を対象に「埼玉県ケアラー支援計画のためのヤングケアラー実態調査」を行い、調査の結果ヤングケアラーは4.1%（約25人に1人）いる事がわかった。県は現在ケアラー支援計画を策定中である。</p> <p>(1) アンケート結果によるとケアの開始時期は中学生の時からが最も高く34.9%、次いで小学校4～6年生で20.1%、小学校1～3年生12.1%、合わせると67.1%である。幸手市ではヤングケアラーである児童・生徒の掌握はされているかを伺う。</p> <p>(2) クラスに1人はヤングケアラーの児童・生徒がいると思われる。一番身近な教職員がヤングケアラーという社会問題を知ることが大事であると考えますが、見解を伺う。</p> <p>(3) 条例にはヤングケアラーの支援は、適切な教育機会を確保し、心身の健やかな成長、発達並びに自立が図られるように支援を行わなくてはならない。と明記されている。 アンケート結果に対する見解と、幸手市の支援の取り組みについて伺う。</p>

			<p>2 ご遺族支援（おくやみ）コーナーの設置について</p>	<p>家族が亡くなった際の手続きは、ご遺族は悲しみの中で行わなければならない。手続きごとに異なる窓口を回り、申請書には何度も同じ内容の記載を求められ、ご遺族にとって手続きそのものの負担だけでなく、心の負担にもなっている。</p> <p>(1) 当市に提出される死亡届の件数は、年間どれくらいかを伺う。</p> <p>(2) 死亡に伴う手続きの申請書は、何種類あるかを伺う。</p> <p>(3) 申請書の提出は、いくつの窓口に分かれているかを伺う。</p> <p>(4) 死亡に伴う申請手続きの流れと対応時間はどれくらいかを伺う。</p> <p>(5) 先進的に「ご遺族支援（おくやみ）コーナー」を実施している自治体では、事前予約をし、手続きに必要な申請書を一括して作成するワンストップのサービスを実施している。このような支援は、市民・ご遺族にとってどのようなメリットがあるかを伺う。</p> <p>(6) 行財政改革の一環として実施している自治体もある。どのようなメリットがあるかを伺う。</p> <p>(7) ご遺族が死亡の手続きをおこなう際の負担を軽減でき、窓口業務の時間削減にもつながる「ご遺族支援（おくやみ）コーナー」が幸手市でも必要と考える。お考えを伺う。</p>
--	--	--	---------------------------------	--

2	2	坂本達夫	<p>1 新型コロナウイルス感染症について</p> <p>2 洪水対策について</p> <p>3 荒宿交差点、市役所入口交差点について</p>	<p>(1) 新型コロナウイルス感染症による幸手市での死亡者数について伺う。</p> <p>(2) 緊急事態宣言期間中の公民館の使用について伺う。</p> <p>(1) ハザードマップにおいて、駅自由通路を避難場所として指定するのか伺う。</p> <p>(2) 洪水発生メカニズムと対策について副市長に伺う。</p> <p>(3) 中落悪水路の雨水を葛西用水路へ放水することについて、進捗状況を伺う。</p> <p>(1) 問題解決のための手順、決意について副市長に伺う。</p>
3	9	小林啓子	<p>1 市内小中学校等における新型コロナウイルス感染予防のための清掃・消毒について</p>	<p>(1) 文部科学省のガイドラインに則り、新型コロナウイルス感染予防のために、市内小中学校ではどのような清掃・消毒が行われているのかを伺う。</p> <p>(2) 現在、十分な消毒液等は備蓄されているのかを伺う。</p> <p>(3) 昨年6月に、厚生労働省・経済産業省・消費者庁が安全性、利便性、低コストである次亜塩素酸水が除菌水として有効であると発表した。既に蓮田市、春日部市、直近では千葉県松戸市が小中学校に次亜塩素酸水生成器を導入した。 幸手市としても市内小中学校の教師、関係者の業務負担を軽くするためにも導入をしては如何かを伺う。</p>

			2 幸手市のドローン事業について	<p>国では、都市の市街地など有人地帯でのドローン目視外飛行である「レベル4」を2022年度までに可能にするとしている。その環境整備の一環として、国は昨年12月ドローン操縦者の技能を証明する免許制度を今年中に創設する方針を決定した。</p> <p>(1) 幸手市所有のドローンの飛行レベルを伺う。</p> <p>(2) 幸手市では、今日までどのような事業を行ってきたのかを伺う。</p> <p>(3) 国に準じて、「レベル4」を飛行するため、幸手市として免許制度を活用してはどうかを伺う。</p>
4	7	本田 謡子	1 市ホームページの記載のしくみなどとその責任について	<p>(1) 新型コロナウイルス感染者86例目の公表時において、スマートフォンから確認したところ市のホームページの新着情報一覧と市公式ツイッターは、新型コロナウイルスに関連した患者の発生86例目となっても、85例目までであったことについて、原因とその後の対応を伺う。</p> <p>(2) それぞれに「更新日」とあるが、その規定を伺う。</p> <p>(3) コロナ禍におけるトップページのあり方について、市の考えを伺う。</p> <p>(4) それぞれの内容の記載担当とその責任について伺う。</p>
			2 コロナ禍の防災（避難）について	<p>(1) いつ起こるかかわからない大地震によるコロナ禍での避難について自宅療養者やその家族である疑陽性者などの避難の対応について伺う。</p>

			<p>3 コロナ禍の自宅療養者等の支援について</p> <p>4 パルスオキシメーターについて</p>	<p>(2) 市の役割とこれからの対策を伺う。</p> <p>(1) 現在、市でおこなっている自宅療養者等の支援について伺う。</p> <p>(2) 改善点や問題点などがあれば伺う。</p> <p>(1) コロナ禍におけるパルスオキシメーターの活用の重要性について市の考えを伺う。</p> <p>(2) 今後の市の対応を伺う。</p>
5	10	松田雅代	1 コロナ禍において市民サービスを低下させない政策について	<p>(1) 『「緊急事態宣言」の延長に基づく市職員の対応について』に挙げられた施策により、職員の物理的「密」を下げるための対策は一定の評価ができるものであるが、一方で、業務・職員間の情報連携の「密」も低下する懸念がある。業務・職員間の情報連携の「密」を維持するための対策は何か伺う。</p> <p>(2) 昨今のテクノロジーの発展を勘案すれば、これを機に、業務・職員間の情報連携の「密」を上げることも可能ではないかと考えるが、どのような方策を考えているか伺う。</p> <p>(3) 政策目的のあった事業や行事が中止や縮小となる中、市民サービスの「質と量」の観点から、元々の政策目的を果たすための新たな施策や政策をやっていかないと単純に市民サービスが低下することになるのではないかと懸念する。withコロナを前提とした市民サービスの「質と量」の低下を可能な限り抑えるための施策をどのように考え、やっているのか、また、やっていくのか伺う。</p>

			<p>2 ふるさと納税寄附金の効果的な活用について</p> <p>3 市の審議会、協議会等「附属機関等」の会議録の閲覧状況について</p>	<p>(1) ふるさと納税の寄附額が伸びていることに期待している。伸びた理由を「返礼品アイテム増」としているが、今後の返礼品開発、PRなどの取組方針、戦略と目標を伺う。</p> <p>(2) 幸手市では企業版ふるさと納税の活用が進んでいない。今後は企業へのPRを進めるべきと考えるがどのような対応が可能か。市の方針、戦略を伺う。</p> <p>(1) 現在、多くの審議会や協議会など「附属機関等」が設置運営されているが、議事録を市ホームページ上で閲覧できる附属機関等とできない機関がある。取り扱いの基準を伺う。</p> <p>(2) 電磁的閲覧ができる環境整備を進めるべきと考えるが、今後の対応を伺う。</p>
6	3	海老沼隆夫	<p>1 元職員の公平委員会への「不当訴え」問題について</p> <p>2 老朽化する市庁舎について</p>	<p>(1) 新聞報道によりますと、幸手市の元女性職員は、広島市の平和記念式典に参加した夜に、前市長及び上司の課長に誘われて「酒を伴う反省会」に参加後、前市長現行犯逮捕事件に伴い、市から戒告の懲戒処分を受けた。その後市民からの苦情を受けたり、庁内でも仕事がしづらくなり、本当は働き続けたかったが、精神的に厳しくなり、退職した。キャリアアップを希望しているが、懲戒処分は履歴書に書かなければならず不利益。元女性職員はこの2月5日に、市の公平委員会に審査請求を申請、処分の撤回を求めています。市は処分の撤回をすべきと考えますが、市長の考えを伺います。</p> <p>(1) 市庁舎の老朽化問題はこれまでも討議と調査・検査を繰り返してきたものと思われませんが、本庁舎、第二庁舎それぞれ、震度5で倒壊の危険はないのかを伺います。</p>

			3 危険な道路、歩道について	<p>(2) 市の厳しい財政難の中、庁舎の移転、建設、立て替えなど、具体的な計画が有るのかを伺います。</p> <p>(3) 本庁舎へのエレベーターの設置は、市民のための緊急の課題と考えるが、計画を伺います。</p> <p>(1) 県道並塚幸手線ヨークマート前の歩道、狭いところに雑草が生い茂り、通行に不便が有り、小学生は遠回りをして通学しています。市から業者に繰り返し要請して頂いたと思いますが、2月初旬になってやっと枯れた雑草の一部の撤去が行われました。雑草の生い茂る夏場の定期的な刈り取りを是非求めますが、市の考えを伺います。</p> <p>(2) 県道惣新田幸手線の八代郵便局前を通過後の中野集会所に向かうまでの左カーブの百数十メートル、道路が狭く両側が木立に囲まれ、道路両端の歩道は狭さも有り通行に危険、車両の行き違いにも困難で危険を伴います。市民の危険を排除して、市民の命を守るためにも、すぐにでも県に改善を求め、実現すべきと考えますが、市の考えを伺います。</p>
7	4	小林 英雄	1 幸手市独自コロナウイルス対策事業について	<p>(1) ハッピーエール券（1人2,000円）・PayPay 対象店舗募集・小規模事業者等応援交付金（50,000円）の周知をハガキで行ったが、市民から分かりづらい、届いていない等の問い合わせがあったか伺う。</p> <p>(2) コロナウイルス対策事業の手續等を幸手市商工会に依頼した経緯について伺う。</p>

				(3) ハッピーエール券・Pay Pay・小規模事業者等応援交付金の予算額と執行額について伺う。
8	13	青木章	1 コロナ禍における人口対策について	(1) 幸手市の人口推移について ・過去5年分の推移について ・令和2年度中の推移について
			2 子育て支援事業等について	(2) 人口を増やすための対策について市長に伺う。 (1) 幸手市の子育てをどのように考えているか市長に伺う。 (2) 子育て支援事業の主なものを伺う。 (3) 特別定額給付金の支払い状況について。 (4) 幸手市新生児特別定額給付金支給事業の現状について。
			3 幸手市魅力向上について	(1) 幸手市の魅力向上の施策について市長に伺う。 (2) シティプロモーション課を廃止した理由について市長に伺う。 (3) シティプロモーション課での事業を現在どの課が担当しているか。 (4) 権現堂公園の更なる有効利用について伺う。



9	8	小河原浩和	<p>1 市長の選挙公約実現に向けた進捗状況とその課題について</p> <p>2 県道幸手・境線バイパスの進捗状況と現上船戸橋及びその周辺道路の今後。 他の市・町と接する市道橋の考え方について</p>	<p>(1) 4つの公約①教育・子育て支援事業の刷新②医療・介護・福祉の見直し③公共施設の再編・整備④災害・くらしに強い街づくりについて、市長就任から約1年半が経過した今、その進捗状況を市長に伺う。また、これらの公約の推進のために、具体的にどのような施策や事業を実施したのかを市長に伺う。</p> <p>(2) 上記の市長の選挙公約に対し、令和元年12月議会において一般質問をさせていただいたが、市長は随所に「関係部局と連携を密にとり今後検討する」「今までの事業の中身をすべて検証する」「予算の数字を丁寧に見る」「市民ニーズを検証する」とおっしゃっていたが、どのような事をどこの部署(市民)とどのくらい話し合ってきたのか、市長に伺う。</p> <p>(3) 公約実現のための課題は何かを市長自身とらえているのか。また、課題克服のための方策や市長自身リーダーシップをどう発揮しようとしているのか、市長に伺う。</p> <p>(4) 令和3年度予算編成は市長の重要な役割だと考えるが、部課長会議や政策会議等で市長自ら幹部職員には具体的にどのようなことを指示されたか。</p> <p>(1) 何年前から県と協議を進めてきたのか。</p> <p>(2) いつ開通するのか。</p> <p>(3) 開通に伴い、議会や地元住民に説明するのか。</p> <p>(4) 現在使われている上船戸橋は、今後どうなるのか。</p>
---	---	-------	--	--

				<p>(5) 今後の維持管理について、どのような取り決めがされているのか。</p> <p>(6) ほかに他市の市・町と接する市道橋があるか。または、計画されているか。</p> <p>(7) 今後の取組方針について市長の決意を伺う。</p>
10	15	大平 泰二	<p>1 介護保険制度について</p> <p>2 新型コロナウイルス対策について</p>	<p>(1) 第8期介護保険事業計画の策定にあたり、市議会決議（平成28年12月）をどのように反映させたか伺います。</p> <p>(2) 第8期と第7期の保険料と利用料の比較について伺います。</p> <p>(3) 民間の地域包括支援センターと社会福祉協議会の役割について伺います。</p> <p>(4) 公設の地域包括支援センターの役割について伺います。</p> <p>(5) 介護保険特別会計の基金の有り方について伺います。</p> <p>(6) 新型コロナ禍のなかで市内事業所の経営実態について伺います。</p> <p>(1) 現在のワクチン接種体制と老人施設、居宅者への訪問接種について伺います。</p> <p>(2) PCR等検査体制の強化について伺います。</p> <p>(3) 市内感染者に対する現状把握と支援体制について伺います。</p>

			3 令和3年度予算について	<p>(4) 市として保健所に対する要望等、感染症対策の教訓について伺います。</p> <p>(1) 昨年11月に提出した予算要望書に対する回答について伺います。</p>
11	11	木村治夫	<p>1 自主防災組織の育成・支援事業について</p> <p>2 地域農業の推進について</p> <p>3 道路網の整備について</p>	<p>(1) 自治会・町会・集落単位の地域防災計画、策定状況について伺う。</p> <p>(2) 令和3年度、自主防災組織への支援・整備目標について伺う。</p> <p>(3) 令和3年度、自主防犯組織への支援・整備目標について伺う。</p> <p>(1) 農業経営強化と担い手の育成・支援について市長に伺う。</p> <p>(2) 農業生産基盤の整備と優良農地の保全について市長に伺う。</p> <p>(3) 地元農産物の利用促進と高付加価値化への支援について市長に伺う。</p> <p>(4) 市民が農業に親しむ機会の充実支援について市長に伺う。</p> <p>(1) 幸手境線バイパス開通後の周辺環境整備について市長に伺う。</p> <p>(2) 計画線都市計画道路、令和3年度の整備計画について市長に伺う。</p> <p>(3) 市道の令和3年度整備計画について市長に伺う。</p>

1 2	1 4	武 藤 壽 男	1 幸手市の地方自治法202条の3に基づく附属機関等について  2 市長の市政に取り組む考え方、方針について	(1) 法律に基づくもの、条例で基づくもの等の附属機関名、主な設置目的、委員数、年間の開催日数、担当部署名を伺う。(一覧表の提出をお願いします)  (2) 会議の傍聴等の有無について伺う。  (3) 会議の運営状況はどのようにされているか、外部委員、専門委員等の状況について伺う。  (4) 委員の意見等は反映されているのか伺う。  (5) 委員選任後会長不在の最初の会議、更に許認可に関する会議があったが、何に基づいて書面会議が可能なのかその根拠を伺う。  (1) 市長就任以来1年5ヶ月、その重責を担ってこられた立場で、改めて市長の考え方、方針について伺う。  (2) 庁内の合意形成には、どのような進め方を考えておられるのか伺う。
1 3	5	枝 久 保 喜 八 郎	1 土地利用について  2 老朽施設の管理支援対策について	(1) 農地の地目変更と、その法的根拠について伺う。  (2) 農地における建築許可等が必要な場合について伺う。  (1) 総務省が3月開始予定のアドバイザー派遣事業について市の対応を伺う。

			<p>3 ワクチン接種事業について</p>	<p>(1) 臨時議会で示された内容の進捗状況について、 過去に例を見ない史上最大のプロジェクトとも言われる同事業ではあるが、実態は市町村単位で計画して進められる事業であり、それは真に経営の3大要素である「ヒト・モノ・カネ」の構造を巧みに組み立てた自治体において、スムーズな運営が可能になるのは間違いのないところである。 そこで、先の臨時議会で示された、財政、必要物資、医師会との連携等々のその後の進捗状況について伺う。</p>
--	--	--	-----------------------	--